

目 次

はじめに

調査C(生活)の概要	1
質問項目一覧	2
調査結果の概要編	
調査結果の概要編の構成	4
児童生徒	5
保護者	24
学級担任	42
集計編	
児童生徒	57
保護者	62
学級担任	67
資料編 - 質問紙調査票・回答票・参考文献 -	
児童生徒	72
保護者	83
学級担任	86
参考文献	90

調査C(生活)の概要

1 学校教育調査実施の目的と実施経過

学校教育調査は、岩手県の学校教育に関する状況について、さまざまな立場の方の意識や実態を定期的に把握することにより、県内の学校が抱える課題を把握するとともに、当総合教育センターの事業見直しの基礎資料を得ることを目的に実施してきたものである。

学校教育調査は、児童生徒の学習面・生活面全般について実施する調査Aと、その結果を補完するために実施する調査B及び調査Cから構成してきた。

1回目のサイクルであった前回は、平成14年度に調査A(児童生徒の学習面・生活面全般)、平成15年度に調査B(児童生徒の学習面中心)と平成16年度には調査C(児童生徒の生活面中心)を実施した。

さらに、平成17年度～19年度の3ヶ年計画で前回と同様の調査を実施した。そしてこのことにより、本県の児童生徒の学習面・生活面の実態と、それに関わる保護者・学級担任の意識の変化について経年比較などを取り入れて把握することとした。

2 調査対象および回答者数

校 種	調 査 対 象		回答者数(人) 【抽出の割合】		
	児童生徒・保護者・学級担任	学校数	児童生徒	保護者	学級担任
市町村立 小 学 校	5年生とその保護者(全員) 学級担任(副担任含む全員)	17校	794 【6.2%】	744	194
市町村立 中 学 校	2年生とその保護者(全員) 学級担任(副担任含む全員)	14校	852 【6.3%】	819	161
県立 高 等 学 校	2年生とその保護者(2学級) 学級担任(副担任含む全員) *学級選考:学校一任 *生徒と保護者は同一学級であること	10校	694 【6.4%】	635	245
県立 特別支援学校	中学部の生徒とその保護者 *回答可能な生徒 中学部の学級担任(副担任を含む全員)	15校	234	249	183

注1 小・中学校の調査依頼校は次のようにして選定した。

・10の教育事務所を単位とし、その管内の調査対象学年の5%程度を抽出した。

・抽出に当たっては、「平成18年度学校一覧」の小学校5年生、中学校1年生の各校および各教育事務所の児童生徒数から算出した。

注2 高等学校は、県立高等学校全日制課程を調査対象とし、17、18年度にそれぞれ実施の調査A、調査Bと同一の学校とした。

注3 特別支援学校は中学部生徒の悉皆調査としたが、中学部の生徒の在籍がない学校については調査対象としなかった。

注4 抽出の割合は、回答者数と、「平成19年度学校一覧」から調査対象学年のそれぞれの県内の児童生徒数から算出した。

3 調査内容

調査C(生活)は児童生徒の生活面の実態に焦点を当てた。児童生徒、保護者と学級担任への具体的な調査内容は別紙「質問紙調査票」のとおりとした。

4 調査期間

各学校における調査票の配付・回収期間は、おおむね平成19年9月7日(金)から9月21日(金)までの2週間とした。

質問項目一覧

19年度学校教育調査C(生活)の調査項目一覧

1 小・中・高等学校用

	小学校児童、中学校・高校生徒	保護者	教職員(学級担任・副担任)	
生活	Q 1 起床時刻	Q 1 子どもと家事	子の状況	
	Q 2 就寝時刻	Q 2 子どもと買い物に行く		
	Q 3 不登校感	Q 3 子どもと遊びやスポーツ		
	Q 4 朝食			
読書	Q 5 読書好き	Q 4 保護者の読書好き	読書	
		Q 5 幼児期の読み聞かせ		
情報機器	Q 6 パソコンの使用日数	Q 6 パソコン・携帯電話についての話し合い	情報教育	
	Q 24 パソコンの用途			
	Q 7 出会い系サイトへのアクセス経験			
家庭生活	Q 8 家族そろって朝食	Q 7 家庭生活の満足度	保護者関係	
	Q 9 毎日している手伝い	Q 8 子どもをほめる		
	Q 10 家族との話題	Q 9 理由を聞いて叱る		
	Q 11 家庭が楽しい	Q 10 児童虐待観		
	Q 12 ほめられる	Q 11 家族の理解度		
	Q 13 理由を聞いて叱る	Q 12 子どもの行動の原因		
	Q 14 厳しい叱られ方の経験	Q 13 躾や教育の悩み		
	Q 15 家族の理解度			
	Q 16 平日の放課後の過ごし方 マンガ・雑誌を読む スポーツや体を使って遊ぶ テレビゲーム			
友人関係	Q 17 悩みを相談できる友人	Q 14 子どもの人間関係の希薄化	悩み	
	Q 18 友だちとの関係 意見が違っても仲良く 悪いことしたら注意 話を合わせる グループでいたい 話が合わないと不安			
職業	Q 19 職業観	Q 24 職業観		
危機	Q 20 事件事故防止の話し合い	Q 25 事件等への危機意識		
	Q 21 決まりの遵守	Q 26 決まりの遵守		
運動	Q 22 運動好き			
学校・学級への期待		Q 15 行事等への参加	開かれた学校	
		子どもの学校についての満足度		
		Q 16 人間的な成長		
		Q 17 豊かな感性と優しい心を育む		
		Q 18 基礎的な学力		
		Q 19 個に応じた学習指導		
		Q 20 いじめ・トラブルへの対応		
		Q 21 保護者からの相談		
		Q 22 方針のお知らせ		
	Q 23 情報の双方向のやりとり			
体験	Q 23 今までにした体験 木登り、日の出を見る等			

2 特別支援学校用

	特別支援学校生徒	保護者	教職員(学級担任・副担任)
生活	Q 1 起床時刻	Q 1 子どもと家事	子供 の 状 況
	Q 2 就寝時刻	Q 2 子どもと買い物に行く	
	Q 3 不登校感	Q 3 子どもと遊びやスポーツ	
	Q 4 朝食		
体験	Q 15 今までにした体験 木登り、日の出を見る等		
読書	Q 5 読書好き	Q 4 保護者の読書好き	読書
		Q 5 幼児期の読み聞かせ	
情報機器	Q 6 パソコンの使用日数	Q 6 パソコン・携帯電話についての話し合い	情報教育
	Q 16 パソコンの用途		
	Q 7 出会い系サイトへのアクセス経験		
家庭生活	Q 8 決められた手伝い	Q 7 家庭生活の満足度	保護者関係
	Q 9 手伝いが好き	Q 8 よくほめるか	
	Q 10 ほめられる	Q 9 理由を聞いて叱る	
	Q 11 理由を聞いて叱る	Q 10 児童虐待観	
		Q 11 家族の理解度	
		Q 12 子どもの行動の原因	
	Q 13 躱や教育の悩み		
友人関係	Q 12 悩みを相談できる友人	Q 14 子どもの人間関係の希薄化	悩み
職業危機	Q 13 将来やってみたい仕事	Q 24 職業観	
		Q 25 事件等への危機意識	
運動	Q 14 運動好き	Q 26 決まりの遵守	
学校・学級への期待		Q 15 行事等への参加	開 か れ た 学 校
		子どもの学校についての満足度	
		Q 16 人間的な成長	
		Q 17 豊かな感性と優しい心を育む	
		Q 18 基礎的な学力	
		Q 19 個に応じた学習指導	
		Q 20 いじめ・トラブルへの対応	
		Q 21 保護者からの相談	
		Q 22 方針のお知らせ	
		Q 23 情報の双方向のやりとり	
		Q 11 地域の人材活用	
		Q 12 他機関等の連携	
		Q 13 保護者の参画・協力	
		Q 14 教員の地域活動参加	
		Q 15 学校評議員等の制度	
		Q 16 外部評価と公表	